

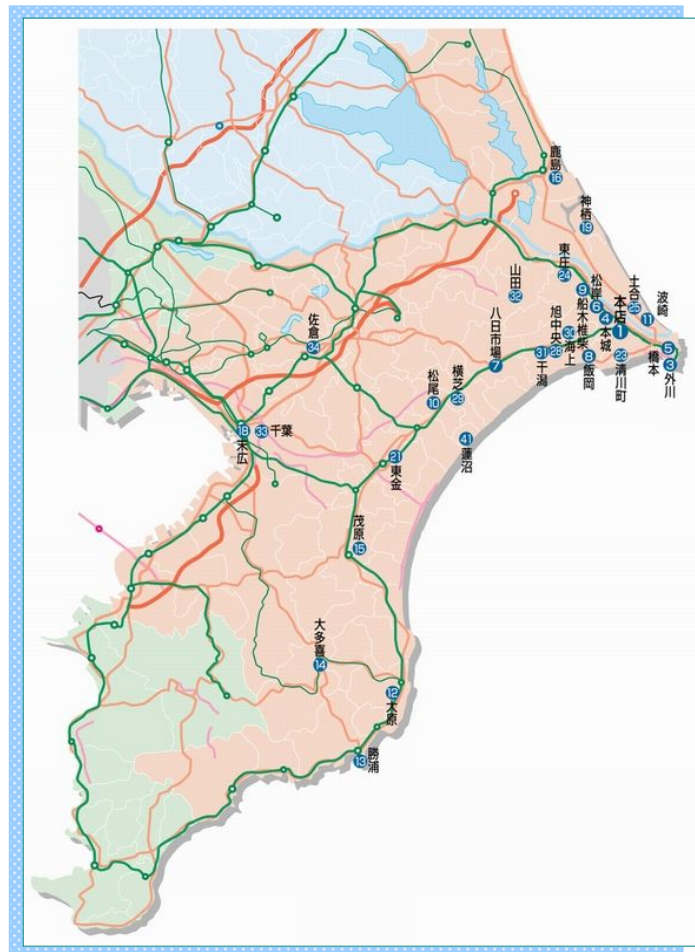
# 2013

3月号

## ちょうしんきん

# 景況レポート

### Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	29	0
今後3か月程度の見通し	1	27	1

【漁業】

銚子港の平成25年2月の総水揚げ数量は18,454トンで前年同月比+1,486トンの増加となった。総水揚金額は2,214百万円で前年同月比396百万円の増加となった。鯛・鯉・鮪等の水揚げが増えたが鯖等が前年同月比水揚げ数量で減少した。また、前月比については総水揚げ数量、水揚金額とも増加した。平成24年暦年の水揚げ高は229千トンで、昨年に続き全国1位となった。

【農業】

銚子地区では、12月からキャベツ・大根の本格的出荷が始まったが、2月は低温の影響で育成も遅れ、品薄状態が続いており今後も出荷量は少ない。キャベツは冬・春系産地の出荷が続いているが、Lサイズ（10Kg）1,300円前後で推移、大根も相場はLサイズ1,300円程度と前年を上回る価格が続くが、今後トンネル物の出荷増加により価格変動が予想される。

【商業】

個人消費は、寒い日が続く春物商品の売れ行きは鈍いが、ブランド品等高額品の動きが堅調で、観光等が盛況な地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

【建設業】

平成25年1月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で17,972百万円（前年同月比+3,822百万円）、茨城県は13,690百万円（前年同月比▲5,837百万円）となった。また前月（12月）と対比して千葉県は▲6,605百万円の減少、茨城県は▲4,332百万円の減少となった。







【観光業】

冬のシーズンはもともと閑散期であるが、各地でイベントが開催され天候にも恵まれて前年比観光客が増加した。3月からゴールデンウィークに向けての行楽シーズン到来が待たれる。

【太陽光事業】

再生可能エネルギーの固定価格買取制度の認知が進み、各業種を問わず、太陽光発電事業への新規参入の相談がある。各地で土地所有者を主に発電事業に参入し、発電所の建設も始まっており、向こう1~2年程度は継続すると思われる。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



## 2. 主要業種別動向

### ■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成25年2月の総水揚げ数量は18,454トンで前年同月比+1,486トンの増加となった。総水揚げ金額は2,214百万円で前年同月比396百万円の増加となった。

鰯・鯉・鮪等の水揚げが増えたが鯖等は前年同月比水揚げ数量で減少した。また、前月比については総水揚げ数量、水揚げ金額とも増加した。

平成24年暦年の水揚げ高は229千トンで、昨年に続き全国1位となった。

波崎港では、稼働日数は9日で、2月の総水揚げ数量4,999トン、総水揚げ金額502百万円、対前月比水揚げ数量は+1,673トン増加、水揚げ金額も+175百万円の増加となった。前年同月比では、水揚げ数量は▲251トン減少、水揚げ金額は139百万円の増加となった。近海での鯖・いなだ中心の操業となった。

勝浦港では、総水揚げ数量は730トンで総水揚げ金額242百万円となった。前年同月比では、総水揚げ数量で▲132トン減少、総水揚げ金額も▲177百万円減少した。前月対比では、鯉、鮪類を主に総水揚げ数量で+302トン、総水揚げ金額も+40百万円増加した。

大原では伊勢エビの水揚げがなく、蛸漁を行っている。

水産加工業では、サンマは小型で加工原料として品薄で、解凍開き等に値上げの動きが見られる。円安の影響から各種輸入魚の調達価格は上昇傾向にあり、原料調達できない業者も見受けられる。チリ銀鮭の魚価低迷や塩鯖の消費低迷から市況は例年になく低調に推移している。

## 銚子魚市場水揚げ高

銚子市漁業協同組合調べ

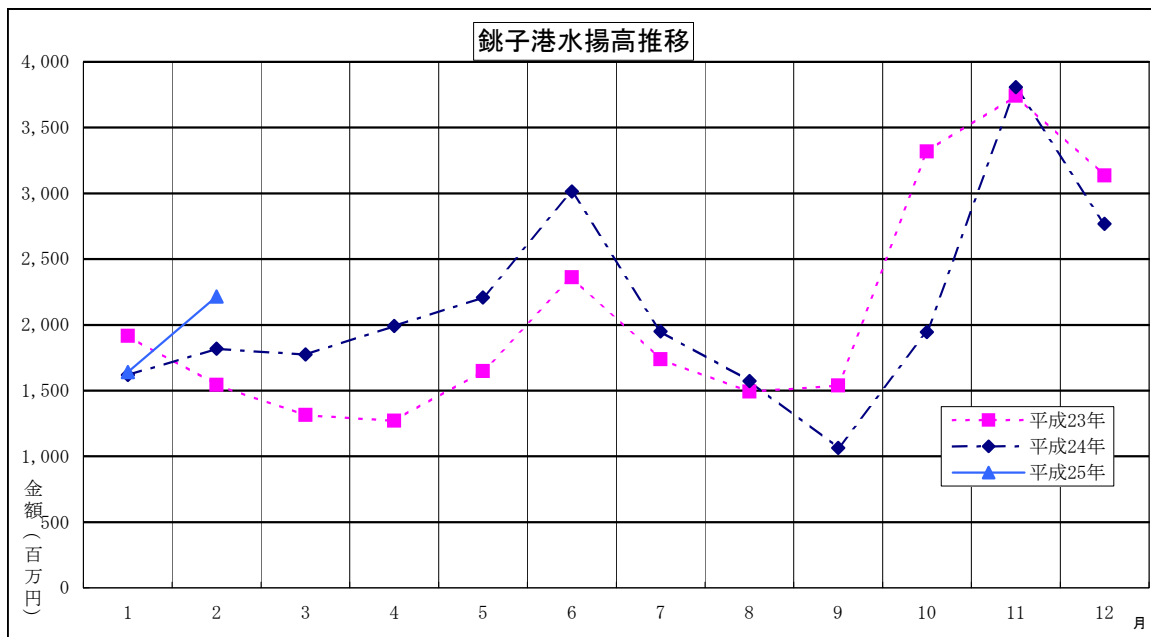
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H25年2月	H24年2月	前年同月比	H25年2月	H24年2月	前年同月比
鰯		6,121	2,810	3,311	388,796	145,200	243,596
鯖		9,195	12,827	▲ 3,632	930,616	919,691	10,925
鱈		265	0	265	62,097	0	62,097
鯉・鮪		2,358	760	1,598	513,237	416,188	97,049
(内鯉一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		338	376	▲ 38	172,189	193,194	▲ 21,005
その他		178	195	▲ 17	147,437	143,458	3,979
合計		18,454	16,968	1,486	2,214,372	1,817,731	396,641

前月比	数量	135.01%
	金額	135.03%
前年同月比	数量	108.76%
	金額	121.82%

## 水揚げ日数



	H25年2月	H25年1月	H24年2月
鰯	11日	8日	5日
鯖	8日	6日	11日
鱈	6日	6日	0日
鯉・鮪	22日	21日	21日
(内鯉一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	23日	20日	22日
その他	23日	22日	24日



## ■ 農 業

銚子地区では、12月からキャベツ・大根の本格的出荷が始まったが、2月は低温の影響で育成も遅れ、品薄状態が続いており今後も出荷量は少ない。

キャベツは冬・春系産地の出荷が続いているが、Lサイズ（10Kg）1,300円前後で推移、大根も相場はLサイズ1,300円程度と前年を上回る価格が続くが、今後トンネル物の出荷増加により価格変動が予想される。

波崎地区のピーマンは、2月下旬は1袋90円程度と前月、前年同月比安値で取引された。春物、ハウス物とも順調な出荷が見込まれるが、燃料費高騰が重荷となっている。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）10円～40円程度、トマトは1箱（4Kg）500円～1,800円程度で取引された。前月と比較してキュウリは5円程度値上がりし、トマトは変わらず取引された。

飯岡地区のパセリは（25束）4,000円程度で推移、春菊等春物野菜も安定価格で推移した。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。

## ■ 商 業

個人消費については、寒い日が続く春物商品の売れ行きは鈍いが、ブランド品等高額品の動きが堅調で、観光等が盛況な地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

また、エコ自動車の購入支援策が継続していることから、軽自動車の販売は好調である。さらに、住宅関連では太陽光発電の固定価格買い取り制度の関心が高まったことから、太陽光発電の設置を機会にエコライフにつながる消費が顕在化してきている。

小売業ではイベント開催等で好調な先もあり、新入生の準備として消費意欲高まりに期待がかかっている。大手チェーン店やネット販売間の顧客争奪が激しさを増し、依然回復感も低調に推移している。中小の小売店・飲食店では消費者の節約志向や各地で新規出店が続いている大型店等との競合から、厳しい環境が続くと予想される。

石油卸業者は、冬季シーズンの農業用燃料の需要が続いている。

海外向け造園業者は、中国向けの輸出が停滞したが、経由地を変えて輸出している。

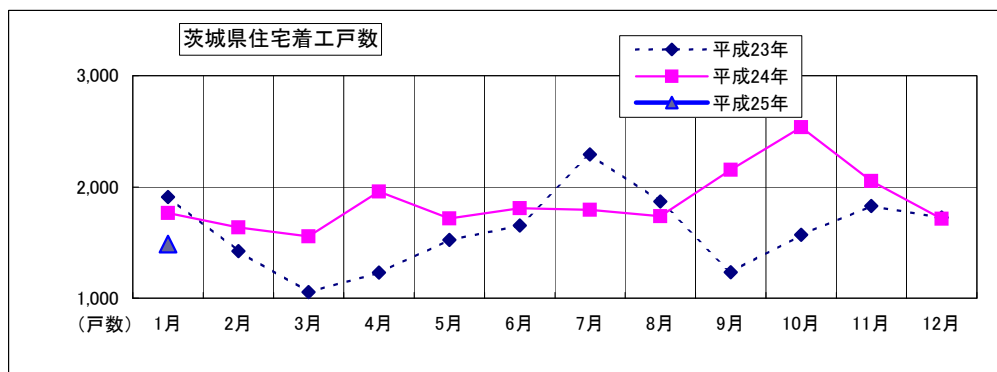
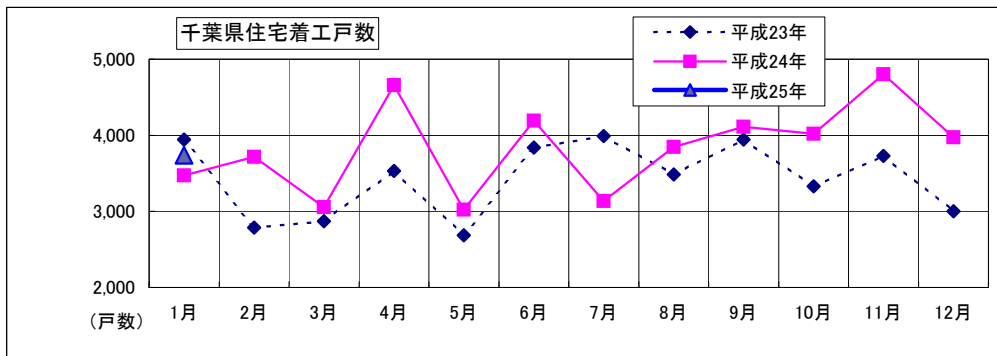
大型店同士の競争が激化しており、中小小売店にも及ぶことが懸念される。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## ■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	3,736	3,972	▲ 236
茨城県	1,487	1,715	▲ 228



平成25年1月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で17,972百万円(前年同月比+3,822百万円)、茨城県は13,690百万円(前年同月比▲5,837百万円)となった。また前月(12月)と対比して千葉県は▲6,605百万円の減少、茨城県は▲4,332百万円の減少となった。

公共機関からの受注工事は、前年同月比では千葉県は受注が増加し・茨城県は受注が減少し、前月比では千葉県・茨城県ともに受注が減少した。千葉県では国の機関からの受注が大きく減少した。

平成25年1月の住宅着工戸数は、千葉県では3,736戸と前年同月比+7.60%(264戸)の増加、茨城県では、1,487戸で同▲15.75%(▲278戸)減少した。なお、前月(12月)対比については、千葉県で▲236戸の減少、茨城県でも▲228戸の減少となった。

国土交通省統計情報より

## ■ 観光業

冬のシーズンはもともと閑散期であるが、今年は各地でイベントが開催され天候にも恵まれて前年比観光客が増加した。3月からゴールデンウィークに向けての行楽シーズン到来が待たれる。

勝浦市では、日本最大規模の約2万5千体のひな人形を展示する「勝浦ビックひな祭り」が2月22日から3月3日まで開催された。

2月9日から11日まで銚子、佐原間をSLが走る「SLまつり」が開催され、多くの鉄道マニアが訪れにぎわった。

飯岡地区では復興支援の「潮騒マラソン大会」が開催され、過去最多の参加者となった。

遊漁船では、銚子地区はヒラメ、ハナダイ、いすみ地区はショウサイふぐ、飯岡地区はヤリイカが好調であるが、寒さの影響により客足は鈍かった。今後は天候の好転に期待している。

ゴールデンウィークをにらんで貸農園など農業をテーマとする施設の開業予定もあり、新たに開通する圏央道に期待が膨らんでいる。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## ■ 不動産業

茨城県神栖市では、土合地区・知手地区等で複数の分譲計画が進んでいる。合わせて、大手企業の社宅跡地で分譲が計画されており、供給過剰が懸念されている。

千葉市や旭市で複数のマンション販売や分譲計画が進んでおり、消費税増税前の駆け込み需要を見込んだ動きと見られる。マンションでは、当初価格を引き下げての販売も見受けられる。

## ■ 養豚業・畜産業

平成25年2月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均190円/kgで前月比+19円/kg値上がりした。前年同月比については+5円/kg値を上げた。豚枝肉の卸売価格相場は、415円/kgで前月比+13円/kg値上がりした。前年同月比では▲12円/kg値下がりした。飼料価格が円安により高騰しており、厳しい状況が続く。

## ■ 自動車ディーラー

平成25年2月の千葉県新車登録台数は12,720台で、前年同月対比79.41%（▲3,299台）の減少となり、6ヶ月連続で前年同月台数を下回った。また、前月対比では118.89%（+2,021台）の増加となった。

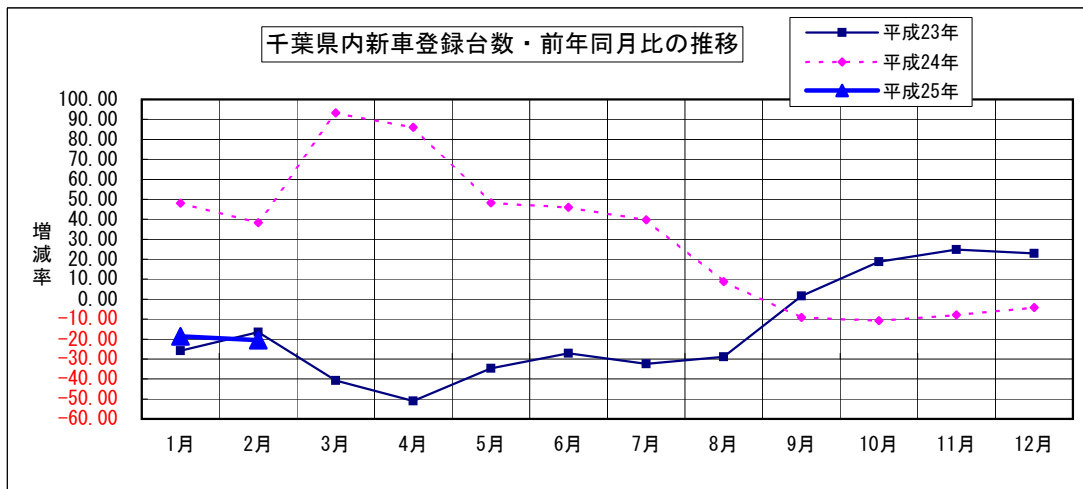
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では11,295台の登録台数で前年同月対比78.65%（▲3,066台）となった。また、貨物車市場は1,100台の登録台数で前年同月対比83.40%（▲219台）となった。

占拠率はトヨタが45.7%の占拠率を確保、占拠率順位2位は、7ヶ月連続で日産（16.2%）となり、占拠率順位3位はホンダ（13.5%）となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当 月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	5,595	4,670	119.81%	6,923	80.82%
	小 型	5,700	4,795	118.87%	7,438	76.63%
	小 計	11,295	9,465	119.33%	14,361	78.65%
貨 物	普 通	398	289	137.72%	416	95.67%
	小 型	702	712	98.60%	903	77.74%
	小 計	1,100	1,001	109.89%	1,319	83.40%
特 殊 等	特 殊	294	198	148.48%	284	103.52%
	バ ス	31	35	88.57%	55	56.36%
	小 計	325	233	139.48%	339	95.87%
総 合 計		12,720	10,699	118.89%	16,019	79.41%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス  
千葉トヨタ自動車(株)

### 3. その他の動向

#### 求人

##### 有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.76	0.74	0.02	0.76	0.00
茂原公共職業安定所管内	0.49	0.45	0.04	0.57	▲ 0.08
いすみ公共職業安定所管内	0.43	0.46	▲ 0.03	0.71	▲ 0.28
成田公共職業安定所管内	0.88	0.91	▲ 0.03	0.74	0.14
佐原公共職業安定所管内	0.70	0.71	▲ 0.01	0.64	0.06
千葉県	0.73	0.73	0.00	0.66	0.07
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.73	0.84	▲ 0.11	0.92	▲ 0.19
茨城県	0.79	0.78	0.01	0.75	0.04

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

#### 電力

##### 電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	385,866	374,156	11,710

東京電力㈱成田支社調べ

#### 倒産

平成25年(2013年)2月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は24件で、前月比で4件の減少となった。また、前年同月比では3件の増加となった。

負債総額は45億8700万円で、前月比14億6400万円の減少となり前年同月比では15億8800万円の増加となった。2月は負債総額10億円以上の大型倒産は発生しなかった。ここ数カ月の件数は低水準ながら一進一退の状況で中小・零細企業の小口倒産が散発した。

千葉県内の震災関連倒産は、2月は1件発生し、累計で39件となった。

倒産会社の従業員数は312名で前月より67名増加した。

産業別では「サービス業他」が7件(構成比29.2%)を占めた。負債総額では「サービス業他」が23億2000万円(構成比50.2%)と多く、次いで「不動産業」が7億1900万円(構成比15.3%)となった。

原因別では、「業績不振」によるものが18件(構成比75.0%)と多く、次いで「過小資本」が2件(構成比8.3%)となった。

地域別では、件数で木更津市、君津市と県北西部、負債総額で松戸市と柏市が上位を占め、倒産形態では破産が18件、銀行取引停止処分が5件と続いた。

企業倒産を抑制させた「金融円滑化法」は平成25年3月に終了するが、金融庁は金融機関に対して4月以降も柔軟に対応するよう求めており、支援体制が急変する可能性は少ないものの、政府の景気対策が本格稼働すると、企業業績の2極化も懸念される。

景気が踊場の状況になると、資金調達に困窮する企業と経営体力が枯渇する企業が混在して倒産は増勢に転じる可能性が高いが、「金融円滑化法」の終了を考慮すれば夏場以降に増加すると予想される。

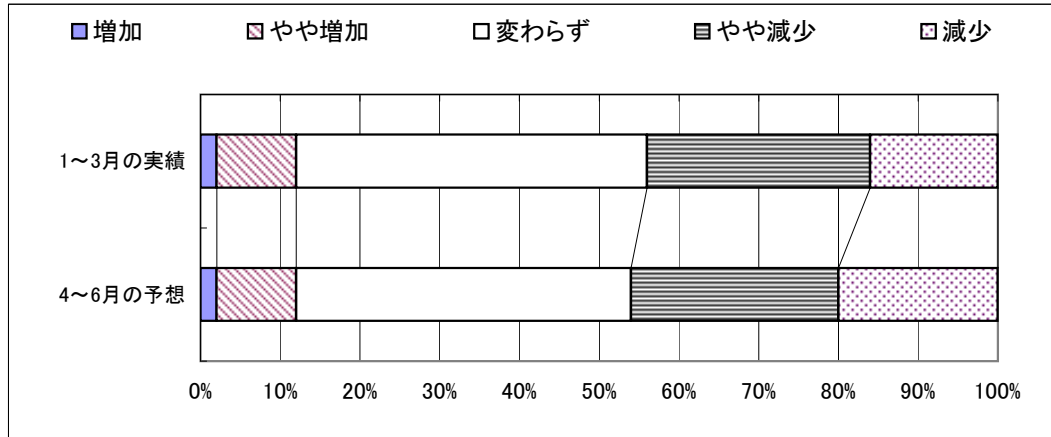
円安推移の為替相場は、日本経済の為には歓迎する経営者が多い一方で、燃料や石油製品原料等の価格上昇がコスト高へと繋がり、企業収益をすり減らす不安も大きく、中小企業の経営実態は厳しい状況が続くものと見られる。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

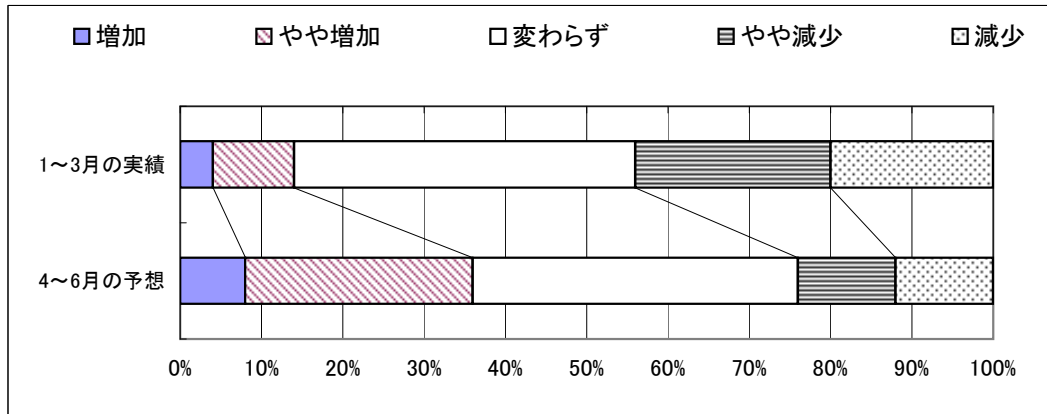
## 特集 第151回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。  
 当金庫の対象先は営業店24店舗の顧客50先で、内訳は製造業17先、卸売業8先、小売業9先、サービス業4先、建設業8先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は2月下旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

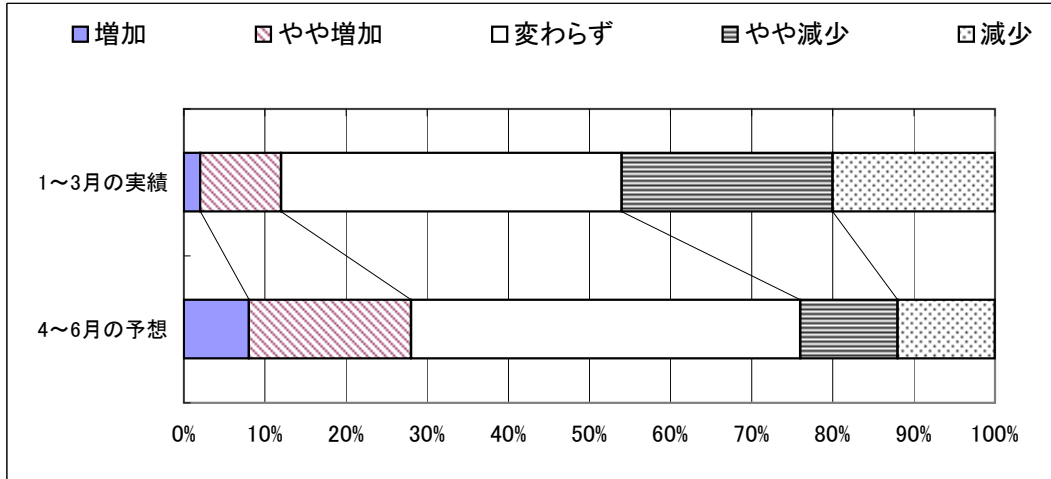
### ■ 業況



### ■ 売上

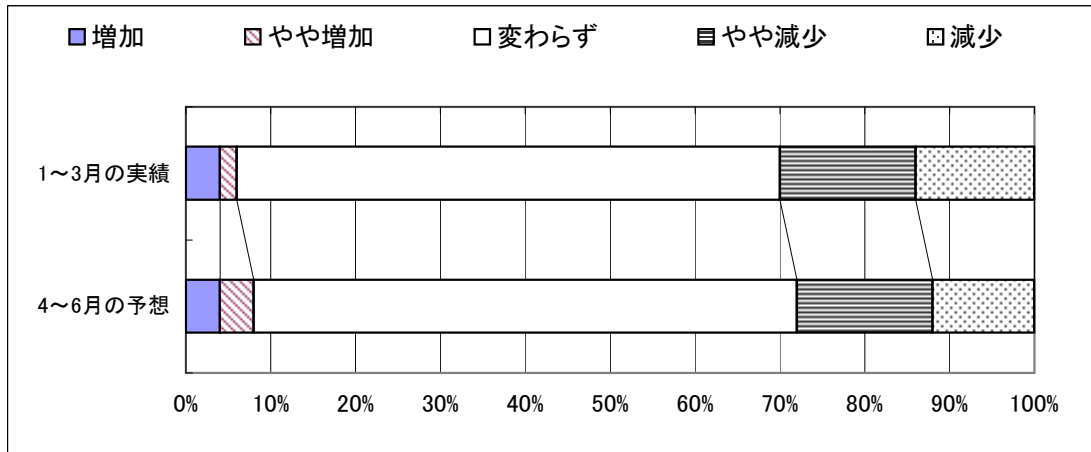


### ■ 収益

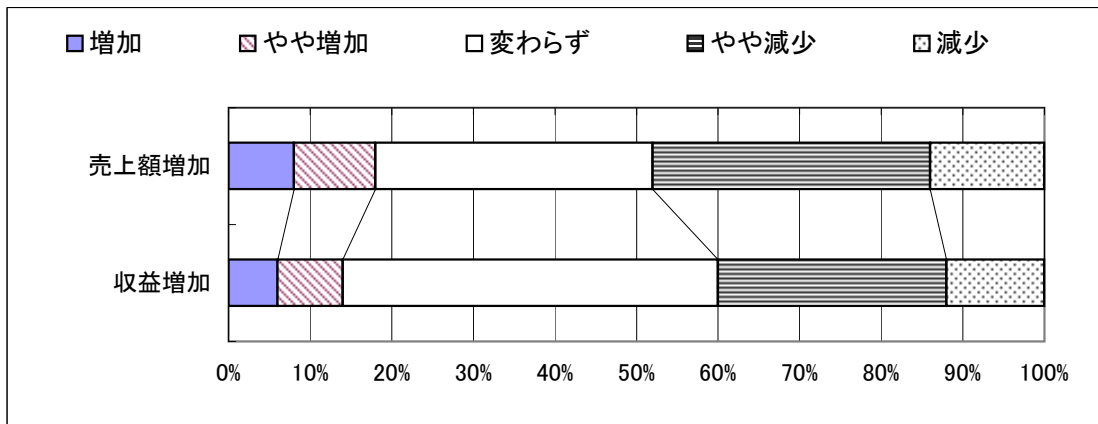




■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



「経営上の問題と当面の重点経営施策」について

経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上の停滞・減少</li> <li>■ 利幅の縮小</li> <li>■ 販売納入先からの値下げ要請</li> <li>■ 同業者間の競争の激化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 同業者間の競争の激化</li> <li>■ 売上の停滞・減少</li> <li>■ 取引先の減少</li> <li>■ 合理化の不足</li> <li>■ 他頻度配送の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上の停滞・減少</li> <li>■ 利幅の縮小</li> <li>■ 商店街の集客力の低下</li> <li>■ 同業者間の競争の激化</li> <li>■ 人手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上の停滞・減少</li> <li>■ 人手不足</li> <li>■ 人件費の増加</li> <li>■ 料金の値下げ要請</li> <li>■ 人件費以外の経費の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 同業者間の競争の激化</li> <li>■ 利幅の縮小</li> <li>■ 大手企業との競争の激化</li> <li>■ 売上の停滞・減少</li> <li>■ 地場産業の衰退</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利幅の縮小</li> <li>■ 売上の停滞・減少</li> <li>■ 同業者間の競争の激化</li> <li>■ 商品物件の不足</li> <li>■ 人件費の増加</li> </ul>

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販路を広げる</li> <li>■ 経費を節減する</li> <li>■ 新製品・技術を開発する</li> <li>■ 教育訓練を強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販路を広げる</li> <li>■ 経費を節減する</li> <li>■ 情報力を強化する</li> <li>■ 新しい事業を始める</li> <li>■ 人材を確保する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経費を節減する</li> <li>■ 売れ筋商品を取扱う</li> <li>■ 品揃えを改善する</li> <li>■ 仕入先を開拓・選別する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販路を広げる</li> <li>■ 経費を節減する</li> <li>■ 宣伝・広告を強化する</li> <li>■ 新しい事業を始める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経費を節減する</li> <li>■ 情報力を強化する</li> <li>■ 技術力を高める</li> <li>■ 販路を広げる</li> <li>■ 新しい工法を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報力を強化する</li> <li>■ 販路を広げる</li> <li>■ 宣伝・広告を強化する</li> <li>■ 経費を節減する</li> <li>■ 教育訓練を強化</li> </ul>

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合  
銚子商工会議所  
株式会社 東京商工リサーチ  
国土交通省 統計情報  
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部  
千葉トヨタ自動車 株式会社  
ハローワーク銚子  
ハローワーク茂原  
ハローワークいすみ  
ハローワーク成田  
ハローワーク佐原  
ハローワーク常陸鹿嶋  
東京電力 株式会社 成田支社  
(順不同)  
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫  
編集；営業推進部  
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5  
電話；0479-25-2121  
FAX；0479-24-4591  
E-mail；eisui@choshi-shinkin.co.jp  
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp

## ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円（うち消費税850円）

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

### 経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。  
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

### 法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

### ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。  
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

### レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！  
みなさまのお申込みをお待ちしています。